



プラン^{さくてい}策定^{けい い}の経緯と

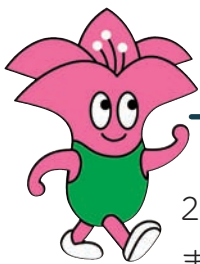
その組織^{そ しき}



1. プラン^{さくてい}策定^その組織^{しきたいせい}体制

プラン^{さくてい}策定^{さいてい}にあたり、3つの^{かいぎ}会議^{せっち}を設置^{せっち}しました。
それぞれの^{かいぎ}会議^{めい}名^なと^{やくわり}役割^しは、下の^{ひょう}表^{ひょう}のとおりです。

かい 議 名	りゃく めい 名	やく 役	わり 割
たぶんかきょうせいきょうぎかい 多文化共生協議会	きょうぎかい 協 議 会	市内 ^{しな} で ^{ない} 仕事 ^{しごと} をしたり、暮 ^く らしている ^ら 外国人 ^{がいこくじん} 市民 ^{しみん} および ^お 日本人 ^{にほんじん} 市民 ^{しみん} 、関係 ^{かんけい} 者 ^{しゃ} で ^な 構成 ^{こうせい} され、小 ^こ 牧 ^{まき} 市の ^し 多 ^た 文化 ^{ぶん} 共生 ^{かきょうせい} にかかわる ^か 問題 ^{もんだい} を ^{はな} 話し ^あ 合 ^あ います。	2009～2010年度 ^{ねんど} は ^{おも} 主に ^な プラン ^{ないよう} の ^{ないよう} 内容 ^{ないよう} について ^{ないよう} 協議 ^{きょうぎ} しました。
たぶんかきょうせいすいしんいんかい 多文化共生推進委員会	すいしんいんかい 推 進 委 員 会	多 ^た 文化 ^{ぶん} 共生 ^{かきょうせい} の ^{かん} 関係 ^{けい} 各 ^{かく} 課 ^か の ^か 課 ^か 長 ^{ちやう} で ^な 構成 ^{こうせい} され、小 ^こ 牧 ^{まき} 市の ^し 多 ^た 文化 ^{ぶん} 共生 ^{かきょうせい} にかかわる ^か 問題 ^{もんだい} を ^{はな} 話し ^あ 合 ^あ います。	2009～2010年度 ^{ねんど} は ^{おも} 主に ^な プラン ^{さいてい} の ^{さいてい} 策定 ^{さいてい} を ^{あこな} 行 ^{あこな} いました。
たぶんかきょうせいすいしんいんかい 多文化共生推進委員会 じつおたんとうしゃかいぎ 実務担当者会議	たんとうしゃかいぎ 担 当 者 会 議	多 ^た 文化 ^{ぶん} 共生 ^{かきょうせい} の ^{かん} 関係 ^{けい} 各 ^{かく} 課 ^か の ^か 係 ^{かり} 長 ^{ちやう} 職 ^{しょく} 以 ^い 上 ^{じやう} または ^{じつ} 実 ^{じつ} 務 ^む 担 ^{たん} 当 ^{とう} 者 ^{しゃ} で ^な 構成 ^{こうせい} され、小 ^こ 牧 ^{まき} 市の ^し 多 ^た 文化 ^{ぶん} 共生 ^{かきょうせい} に ^{かん} 関 ^{かん} する ^{こと} を ^{はな} 話し ^あ 合 ^あ います。	2009～2010年度 ^{ねんど} は ^{おも} 主に ^な 、プラン ^{ないよう} の ^{ないよう} 内容 ^{ないよう} につ ^き いて ^き 協議 ^{きょうぎ} しました。



2. 策定期間^{さくていきかん}とその経緯^{けいゐ}

このプランは、2009年^{ねん}4月^{がつ}から2011年^{ねん}3月^{がつ}までの24カ月^{げつ}間^{かん}で^{さくてい}策定^{さいてい}しました。
2009年度^{ねんど}は、こまき^{ちやう}調査^{さき}など^{あこな}を行^{あこな}い、現^{げん}状^{じやう}把^は握^{あく}に^{つと}努^とめ、プラン^{さくてい}策定^{さいてい}の^{ざいりやう}材^{あつ}料^{あつ}を集^{あつ}め
ました。2010年度^{ねんど}は、内^{ない}容^{よう}や^{こう}構^{こう}成^{せい}に^{かん}関^{かん}して^{ほん}本^{ほん}格^{かく}的^{てき}な^{きやう}協^{きやう}議^ぎを^{かい}開^{かい}始^しし、プラン^{こう}の^{せい}構^{こう}成^{せい}
から^{こま}細^なかな^{ないよう}内^{けつ}容^{てい}ま^{けつ}で^{けつ}決^{けつ}定^{てい}して^いき^ました。
議^ぎ論^{ろん}の^{すす}進^{かた}め^{かた}方^{かた}は、協^{きやう}議^ぎ会^{かい}と^{たん}担^{たん}当^{とう}者^{しゃ}会^{かい}議^ぎで^{きやう}協^{きやう}議^ぎを^{あこな}行^{あこな}い、その^{きやう}協^{きやう}議^ぎ事^じ項^{こう}を^う受^うけて^{すい}推^{すい}進^{しん}
委^い員^{いん}会^{かい}で^{さくてい}策定^{さいてい}しました。
な^お、会^{かい}議^ぎの^{しん}進^{しん}行^{こう}の^そ素^そ案^{あん}づ^くり^など^にお^いて^は、愛^{あい}知^ち淑^{しゅく}徳^{とく}大^{だい}学^{がく}が^し支^し援^{えん}しま^{した}。

プラン策定の流れ



第3章



3. プラン策定に込めた私の願い

今回まとめたプランは綺麗に整理された単なるお題目でなく「みんなこまき市民」として具体的に活動できることを5つに絞りました。私も企業の立場で実現にむけ全力で取り組みます。市民全員でできることから始めましょう。



いよいよプランが完成しました。多くの外国人と日本人の市民が携わり、時間をかけて完成したプランです。思いを形にしたプランを、今度は実現するために力をあわせて実行していきましょう。

自治会の対応としては、今までと同じように、いろいろな場面で声を掛け合って、いろいろな行事に参加してもらえるように努力をしていくことが大切であると、話し合いの中で感じました。継続していきたい。



会議では外国人市民の方々のお話を聞かせていただき、外国人市民の方々との接し方について今後の参考になることが大変多く、勉強になりました。この経験を生かしていきたいと思います。

外国人市民の多くは地域社会と関わりを持つことが少ないと思われる。外国人市民が地域社会へ積極的に参画してもらえる体制作りと、お互いの国の文化を理解し合って共に活躍できるような環境整備を行い、共生をめざしたい。

プランを実現するために、市、地域、NPOやボランティアが力を合わせて外国人市民をサポートし、みんな笑顔で暮らせるまちにしましょう。

海を越えて来日した私ですが、お互いの障害物（偏見、差別、言葉、文化、習慣）を越えて、個性を尊重しながら、誰もが住みやすい街にするために協力し、努力は惜しまないつもりです。





具体的に多文化共生って何でしょうか？
 プランづくりでは、行政、企業、日本人
 市民、外国人市民が違う考えを持ち、互
 いの立場を理解することから始めました。
 グローバル化が進む中、皆さんも母
 文化を大切にしつつ、改善を考えてみま
 せんか。

私たち外国人市民は、言葉の壁や
 様々な理由で地域社会へ積極的に
 参加できていませんでした。プラン
 づくりの会議に参加することによっ
 て、地域の課題や解決方法を考える
 とともに、こまきに愛着と希望を持
 つことができました。

小牧市を前向きで、思いや
 りあふれ、ルールを守る、
 ハッピーな街にできるよ
 う、気合を入れて頑張りま
 しょう！

今まで近くに住みながら文化の違
 いを認め合う場が多くありません
 でした。こまき市民が同じ目標を
 できる事から始める今回のプラン
 を通じ、多文化の相互理解の場と
 なり、共生への第一歩になってほ
 しいと願っております。



外国人市民、日本人市民もあ
 りません。こまき市民は一つ
 です。みんなで協力し、安全・
 安心・快適なまちをつくろう。

委員に誘われた時は一瞬参加するか迷いま
 したが、参加して外国人市民の方と色々な話をし、
 力をあわせ、一緒にプラン策定でき、大変良い
 経験になりました。今はプランがはじまったば
 かりで、これをいかに実現し、継続するかが重
 要なことだと思います。「こまき」という「す
 ばらしいまち」をさらに全国に名を馳せるため、
 一市民としてプラン実現に努めたい。



人と人がふれあい、大きな輪となっ
 ていくことがプランの成功につな
 がる一番の「カギ」だと思います。国
 籍や人種など人には違いがありますが、
 それを超えたふれあいが、多くの
 「こまき市民」の「笑顔」につな
 がっていきと思っています。

真の多文化共生を願うからこそ
 「一人の百歩でなく、百人の一步」
 という視点を大切にしました。こ
 まき市民みんなで歩み出します。
 頑張っていきましょう！



